

2004 年 3 月 9 日

「株式分割銘柄融資サービス」の受付開始

楽天グループのインターネット・トレーディング専門の証券会社、ディーエルジェイディレクト・エスエフジー証券株式会社(代表取締役社長:國重惇史、本社:東京都千代田区;以下「DLJ」)は、大手カード会社の三井住友カード(代表取締役社長:栗山道義、本社:東京都港区;以下「三井住友カード」)と提携し、DLJVISA カード会員を対象に株式分割銘柄に対応する融資サービスの受付を開始いたします。

サービスの概要

本サービスは、昨今の資本政策において積極的に活用される株式分割の際、信用取引を行う個人投資家への利便性を提供し、取引機動性や資金繰りを支援するものです。

具体的には、信用取引の際、担保である代用有価証券銘柄で株式分割が実施されると、分割後の新株入庫までの約2ヶ月間、新株分の担保減少が生じ、個人投資家には、追加保証金(追証)などの事態が生じることがあります。本サービスでは、DLJ で信用取引を行うお客様に対して、この部分の資金不足について、DLJVISA カード会員であれば、三井住友カードから一時的な融資を行います。これにより、個人投資家の資金繰りに関する制約を解消し、相場状況に応じた機動的取引環境を提供することができます。

信用取引における株式分割時の問題点

信用取引においては、現金の他に保有する株式を保証金代用有価証券として所定の掛け目で担保に差し入れることで証券会社から融資あるいは貸株を受けて取引を行うことができます。

株式を代用有価証券に差し入れ、信用建玉を保有している状態で、もし、当該銘柄において株式分割が実施され、権利落ち日を迎えると、従来保有している旧株分は分割割合に応じて分割後株価の時価評価を基にそのまま代用有価証券担保として維持されますが、新株分の担保価値は実際に株券が入庫してくるまで(約2ヶ月程度)、顧客の勘定の中では担保として評価されません。

結果として担保不足の場合には、追証が必要となり、投資家は追加資金の手当てを求められたり、追証を避けるため、分割前に信用建玉を手仕舞うなどの対応が必要となります。

例えば、時価 50 万円の銘柄が 1:2 の分割を行うと...

	株式分割前	株式分割後
信用建玉残高 (1)	120 万円	120 万円
代用有価証券時価評価額 (2)	50 万円	25 万円
代用有価証券担保価値 ((2) × 80%) (3)	40 万円	20 万円
委託補償金維持率 ((3) ÷ (1))	33.3%	16.6%

この場合、代用有価証券担保価値(3)が20万円減少(40万円 - 20万円)し、委託保証金維持率が 20%を割り込むため、追証が必要となります。

この問題は、株式取引において、株式券面自体の受け渡しを前提に行われることから発生しています。株式分割においては、分割日に、それまで保有している旧株分は時価評価されますが、新株分は、実券面の入庫がないため、入庫までの約2ヶ月間、実質的に投資家の資産は目減りすることになります。こうした課題に対し、DLJは、今回のスキームを活用し、個人投資家を支援いたします。

三井住友カードでは、DLJVISAカード会員の方に、お客様のニーズにあったサービスをご提供し、お客様に一層満足いただけるカードを目指します。

サービス内容

- サービス開始時期 : 2004 年 3 月 9 日(火)受付開始
(3月決算を前に株式分割が数多く行われる現状を鑑み、早急にサービスを開始いたします。)
- 対象株式銘柄 : 株式分割比率 1:2 以上の銘柄
- 対象者 : 上記株式を保有し且つ三井住友カードとの提携カード(DLJVISAカード)会員(提携カード同時入会も可能)
- ご融資金額 : 最高 300 万円
- ご融資利率 : 年 8.8%
- ご融資日 : 株式分割銘柄の権利付売買最終日の翌日にお客様のカード決済口座にご入金
- ご返済 : 元利均等毎月返済または元利均等半年割賦返済併用。繰上返済可
(お借り入れ時にご指定の返済回数にもとづく毎月一定額を、カードご利用代金お支払い口座から自動引落しさせていただきます)

【第1回ご融資内容】

1. 3月25日(木)を権利付売買最終日とする株式分割銘柄42銘柄
(ヤフー・電通など東証一部上場・ジャスダック銘柄など)
2. 3月26日(金)にお客様のカード決済口座にご入金

融資の実行については、三井住友カードがその審査結果を基にして行うものです。